

2023年6月7日

委員各位

独立行政法人日本学術振興会
アモルファス・ナノ材料と応用第147委員会
委員長 石山 和志

アモルファス・ナノ材料と応用 第147委員会
第153回研究会「日本における半導体産業の現状と展望―日の丸半導体の新展開―」

半導体は、自動運転や電動車両、スマートフォン、AIなどの技術力を左右する重要な材料です。将来の産業競争力を左右する半導体技術は最重要分野と考えられており、日本でも2022年7月には経済産業省が次世代半導体研究における新しい研究開発組織を立ち上げることを決定するなど、次世代半導体の研究開発も精力的に進められています。これらの動きは、再び日の丸半導体を世界一にするためのものであり、半導体の研究開発はさらなる活性化が続くと考えられます。第153回研究会では、「日本における半導体産業の現状と展望―日の丸半導体の新展開―」と題して、半導体の将来展望、現在日本で進められている半導体戦略、人材育成、次世代半導体の一つとして研究開発が進められている“スピントロニクス”の基礎から最新の成果、さらには半導体製造装置の現状と課題に関する講演を用意しました。

本委員会の委員の皆さまには、積極的なご参加と議論へのご参加をお願い申し上げます。

1. 日時:2023年7月7日(金) 10:30~17:10

2. 場所:東京工業大学 蔵前会館 ロイヤルブルーホール

東京都 目黒区大岡山 2丁目 12-1 東工大蔵前会館 A館1階

<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/index.html>

3. プログラム

10:30~11:30 「半導体の展望と期待」

東京工業大学 益 一哉

― 休憩(昼食) ―

13:00~14:00 「高専における半導体人材育成の取り組み」

佐世保高専 中島 寛

14:00~15:00 「スピントロニクス省電力半導体と WBG 高効率パワーエレによるゲームチェンジと、
高度情報・低炭素社会への貢献」

東北大学 遠藤 哲郎

― 休憩 ―

15:15~16:15 「半導体製造装置の現状と課題」

東京エレクトロン 富田 博之

意見交換会(会費制)

以上